

インディアナ日本語学校便り

学校教育目標 自ら学び、正しく行動する国際性豊かな児童生徒の育成



1 日 5 時間授業 集中して学習

8 月は日本の終戦記念日がありました。先週は、小学部や中学部で、日本の戦争のことをあつかった国語や社会の学習が進められていました。学習中、原爆のことについて校長への質問もありました。



3 年 1 組



3 年 2 組

「きいて、きいて、きいてみよう」5 年 1 組 ①

石山 勉

ぼくは、お父さんにスバルのインタビューをしました。ぼくのお父さんはスバルの SIA で働いていて、車の部品を買う担当をしています。

最初にぼくは、スバルではどういう仕事があるのか質問しました。お父さんは、車を設計する人、車のパーツをつくるのを依頼する人、部品を購入する人、車を組み立てる人などがあると教えてくれました。なんと、車の部品は全部で約3万パーツあるそうです。ですから、そのうちの一つがないと、車が動かないおそれがあります。そのような理由から、スバルの人たちは、一つ一つのパーツを確認して車をつくるそうです。すごいことに約十八時間で車が出来上がるそうです。他にも、スバルのパーツ、素材、マークの意味なども聞きました。

次にぼくは、スバルの強みはなんなのか質問しました。お父さんは、自分を含めて、スバルで働く人たちが安心・安全を第一にしていることがスバルの強みだと答えてくれました。

ぼくがお父さんにインタビューした理由は、ふだん働いているおとうさんがどんな仕事をしているのか知りたかったからです。実際にお父さんにインタビューしてみて、スバルには色々な担当がありことを知り、車のことも知ることができました。お父さんにインタビューできて、スバルのことをたくさん知り、スバルはすごい会社なんだなと思いました。

泉山 湊紀

僕は、今年から週に一回、空手を習い始めた弟のはるきにインタビューをしました。理由は、言いくいのですが、話し手になってくれる人があまりいなかったからです。しかし、空手という競技をやっている人はあまり聞かないので、インタビューをすることにしました。

はるきさんは、「空手で強くなりたい。」という目標をもっています。空手を始めたきっかけは、友達にさそわれたからだそうです。空手の技を覚えて、ご身用に使うそうです。楽しい時は新しい技を習得したときで、逆につらいのは、難しい技を覚えるときだと教えてくれました。彼にとって、空手をやることは、自分を強くするということだそうです。空手は、ルールや覚えることがとても多いそうなので、大変そうだと僕は思いました。

梶原 斗真

ぼくは、お父さんの仕事の事について聞きました。お父さんの仕事の内容と、なぜ、その会社に入ったのかについて質問をしました。

お父さんは Aisin という会社で働いていて、車をつくる仕事に関わっています。なぜこの会社に入ったかと聞くと、小さいころから動いている物を見るのが好きだから、今の会社に入ったそうです。仕事の内容は、自動車の部品加工の技術開発だそうです。いかに物を早く加工するか、いかに安く物をつくることができるか、をいつも考えているそうです。

ぼくは、なぜアメリカで仕事をしなければならないのか不思議に思っていたので、お父さんにインタビューしました。インタビューをして、お父さんがいつも色々なことを考えて仕事をしていることがわかって、いつも大変だなと思いました。

「時計の時間と心の時間」を読んで 6 年 1 組

栗原 亜月

私は、筆者の主張に半分だけ共感しました。それは、実験①の「時間帯による時間の感じ方」についてです。筆者は朝や夜は、昼よりも時間が速くたつように感じると言っています。でも私がときどき早起きしてオンラインゲームをすると、すでに 1 時間は立っていると思ったのに、実際はまだ 30 分しかたっていなかった、という事が何度かありました。だからここは共感できません。けれど夜はちがいます。夜ゲームをすると、始めたばかりなのにすぐねる時間になるんです。同じゲームなのに不思議です。

新井 航太

私は、「時計の時間と心の時間」を読んで、人それぞれに「心の時間」の感覚がちがうことをいしきすることが大切だ、という筆者の主張に共感しました。それは、日本に住んでいたとき、そういう経験があったからです。友達と給食の準備をしているとき、友達はやるのがおそいと思っていました。でも、この説明文を読んだら、自分のペースでやっているんだなと思いました。友達の「心の時間」とぼくの「心の時間」は、ちがうと思いました。

アメリカとも! 中国とも! 平和活動

-アメリカとの友好交流- 青い目の人形

新一万円札の顔となる渋沢栄一は、1926 年と 1927 年に 2 度もノーベル平和賞候補になっています。(学校便り 68 号で紹介) 栄一は、民間外交を進めた人物です。これは日本の利益や経済の安定を守るためであり、アメリカとの関係改善を図るため、日米間の友好と交流に力を入れました。明治末期頃は、アジア諸国の多くは欧米の植民地になりつつあり、独立を保つ国の方が少なかったほどでした。そこで渋沢栄一は民間外交の目的を「日本の地位向上」を考え、外交によって自国の独立を保つために、常に「日本が対等の立場にあることをアピールする。」という考えがありました。

1927 年(大正 10 年)、82 歳の渋沢栄一は、国際連盟協会への加入を呼びかけたときの演説で「私は平和論者であります。」と最初に述べて、「武力によって他国を制圧すること」に反対し、日清・日露戦争を「いまわしい戦争だ」として「戦争を喜ぶということは、人類のもっとも恥ずべきことである。」と人々に訴えました。

アメリカとのかけ橋



小学館 学習まんが人物館

明治期の後半から、日本とアメリカの関係はじょじょに悪化していきます。日本からの移民がアメリカへ大量に移住することにより、経済が不況の中で、日本人が1日1ドルの低賃金でも真面目に働くことによって、アメリカ人の労働力を奪われると考えられました。また、人種的偏見等も合わさって、移民の排斥運動が行われ始めていたのです。カリフォルニア州議会の「外国人の土地所有禁止法1913年」の制定やアメリカ議会で「排日移民法」(アジア出身者については全面的に移民を禁止する)1924年が成立した事もまた、日本国内での反米感情をあおることになり、両国民の対立を深めることになりました。

渋沢栄一は、日米関係が緊迫する中で、アメリカとの関係改善を強く望み、1916年(大正5)年に日米関係の改善を目的とした日米関係委員会をつくります。国際関係が良くなれば、国が豊かになる。国が豊かになれば、社会・経済が豊かになる。言葉にすれば当たり前のことですが、それを自然にできていたのが渋沢栄一でした。これは、今のロシアによるウクライナ侵略戦争によって、食料不足やエネルギーが高くなるなど世界の経済が悪い方向へ行っていることを見れば当然のことです。

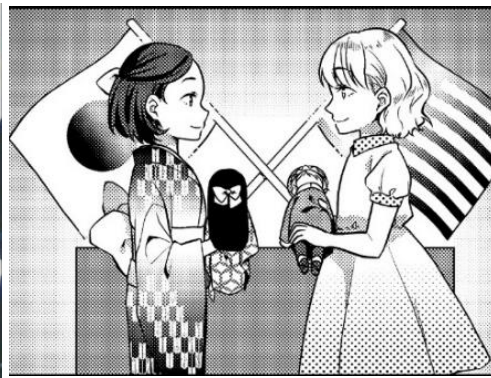
アメリカとの人形交換



1927年(昭和2年)には、有名な「青い目の人形」のエピソードが生まれます。きっかけは、アメリカ人宣教師シドニー・ギューリックの提案でした。「国際親善、人と人との理解は大人になってからでは遅い。」と子供の世代からの国際交流を重視し、「世界の平和は、子供から親善と理解を育てたい」をスローガンとして掲げました。そこで、日本の雛人形や五月人形の風習になぞらえ、日米の子ども達で人形を交換するというアイデアです。ギューリックは日本政府への協力のお願ひに対する回答がなかなか得られなかったため、渋沢に交渉しました。渋沢は良いと思った

アイデアには、実行に移す人です。当時87歳の渋沢はギューリックのアイデアの実現のために、日本国際児童親善会という組織を立ち上げ、会長に就任しました。渋沢の最晩年にやるのですから、日米関係改善への思いは相当に強かったのでしょう。自分の利益のためではなく、常に公共の利益を追求していました。

やがて、日本との親善活動として、1926年10月~12月に全米で人形が集められ、1927年3月3日に間



に合うように、アメリカから1万2,739体もの「青い目の人形」が贈られてきました。到着後、子どもたちの人形に対する興味を通じて、友情や平和への関心を導くために、東京市内の有名デパートをはじめ、大阪など地方の会場での「青い目の人形」の展示会が開催されました。そして、歓迎をする式が行われました。その後、全国各地の幼稚園・小学校等に手渡されました。



そして日本からの返礼として、渋沢の日本国際児童親善会に
よる呼びかけにより、人形が贈られた幼稚園・小学校等の児童か
ら集められた募金を元に製作された58体の市松人形を贈ったの
です。

日本に贈られた「青い目の人形」ですが、太平洋戦争(第二次
世界大戦)中は、アメリカは敵国となり、その多くが処分されまし
た。戦後に発見された現存する人形は、2022年6月現在、343
体です。

日本からの市松人形
これらは現在日米親善と平和を語る資料として大切に保存さ
れ、学校の教科書、絵本や小説・アニメなどの題材にもなっています。

日本から送られた人形は、今もアメリカの各公共施設で保管されており、互いに人形の里帰りや「新・友情
人形」のイベントといった形で現在も子供同士の交流が行われています。

※市松人形(いちまつにんぎょう)とは、着せ替え人形の一種である。東人形、京人形とも呼ばれる。



「横浜人形の家」
青い目の人形とレプリカの人形

-中国との民間外交-

昭和2年に、のちに中国国民党の最高権力者となっ
た蒋介石が、渋沢の家を訪ねてきました。渋沢栄一 87
歳、蒋介石 40 歳の時です。当時悪化していた日中関
係の改善の話の中で、蒋介石は感銘を受けたと言いま
す。栄一は中国人に論語を説いたのです。1931 年
には、中国で起こった水害のために、栄一は義援金を募
り中国との民間外交にも携わりました。

また、歴史の教科書に出てくる中国の大物孫文にも
会い、袁世凱にも会うことで中国との関係を深めました。

渋沢栄一は、一生のうちに社会福祉や国際親善など 605 の

社会事業に携わりました。そして、ついに 1931 年(昭和 6 年)に亡くなりました。



渋沢栄一と蒋介石



名言 自立の精神は、人への思いやりと共に人生の根本を成すものである。

名言 人は死ぬまで同じ事をするものではない。理想にしたがって生きるのが素晴らしいのだ。



借用校のマスコット



【お知らせ】・図書室は毎週貸し出し日と
なります。返却されていない図書カード
がたまっていますので、次の人のために
読み終わった本の返却をお願いします。
・忘れ物の問い合わせがあります。水筒
などお名前をお書きください。

【本日の配布物】なし